

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可・ 否 )

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 緑の文化財	(ふりがな) みどりのぶんかざい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	三石神社の森		
伝承地域	只見町大字只見字後山 2476-2		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 三石神社は、文治年間 (平安時代 1185~90 年)、奥州藤原泰衡征伐で大功をたて源頼朝よりこの地を賜った山内通俊が、夢枕に立った神霊のお告げに導かれてこの地に奉願したと伝えられる。祭神は伊邪那岐命、白山姫命、少彦名命の 3 神を祀る。		
内 容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 三石神社に広がるキタゴヨウとスギの巨樹が鬱蒼と茂り、可憐な草木が林床に自生する鎮守の森である。森には、只見町名水 10 選に選ばれた三石神社の清水が湧いている。キタゴヨウは 40 本程が生育し、最も大きいもので幹周 3m、樹高 26m、スギでは幹周 3m、樹高 28m の巨木もあり、昭和 58 年に福島県緑の文化財に指定されている。 キタゴヨウは、北海道と本州の中・北部の日本海側に分布するゴヨウマツの変種で、尾根筋や露岩地に多く生育している。スギは日本を代表する針葉樹で、生長が早く、雄花と雌花は同じ株につく。 三石神社は、巨岩を御神体とする全国でも珍しい神社で、縁結びの神を祀っている。昔からこの地方の人々から厚い信仰をうけている。		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの) —	(材質) —	
見 頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) —		
交通アクセス	J R 只見駅から只見スキー場方面へ徒歩 15 分		
文化財等の指定状況	昭和 58 年福島県緑の文化財指定		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話 0 2 4 1 - 8 2 - 5 3 2 0	

【フリーフォーマット】

キーワード

<三石神社の森>



<三石神社>

